

Report

2019

北上信用金庫

北上信用金庫のミニディスクロージャー誌

あみえ
が

見えしんきん

半期情報開示（2019年9月末）

この街と生きていく。



北上信用金庫



信用金庫イメージキャラクター
信ちゃん鬼剣舞 Ver

業績のご案内

《半期情報開示について》

信用金庫の決算は、法律により年1回と定められておりますが、当金庫におきましては、経営の健全性、透明性の確保に努め、地域の皆様方に適時適正な情報を開示していくという方針のもと、半期情報を開示しております。

なお、2019年9月期の計数等につきましては、仮決算に基づくものであり、監査法人の監査を受けたものではありません。

◆ 預金積金及び貸出金の状況

■ 預金の状況

2019年9月期の預金積金残高は、前期比604百万円減少の100,079百万円となりました。

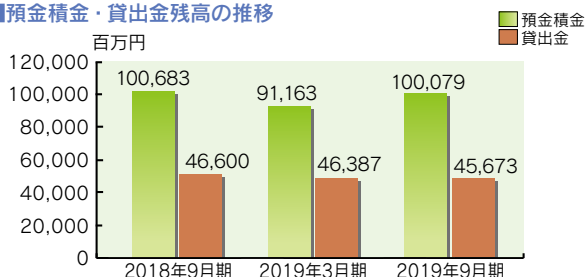
預金積金残高のうち個人預金が67.0%を占めております。

■ 貸出金の状況

2019年9月期の貸出金残高は、前期比926百万円減少の45,673百万円となりました。

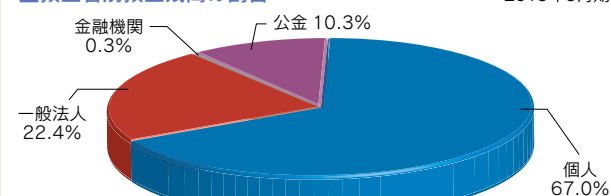
また、特定先や特定の業種にかたよることなく、幅広く貸出を行うことで地域の発展や活性化に活かされるよう努めております。

■ 預金積金・貸出金残高の推移

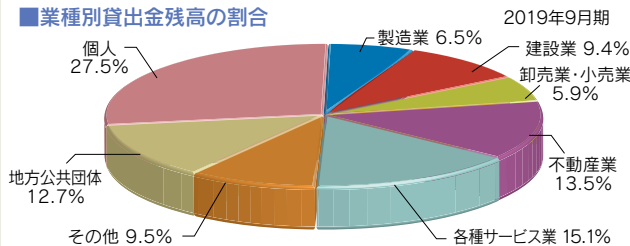


地元のお客さまよりお預入れいただいた大切なご預金は地元で事業を営む事業者や個人のお客さまにご融資することで、地域社会に還元しております。

■ 預金者別預金残高の割合

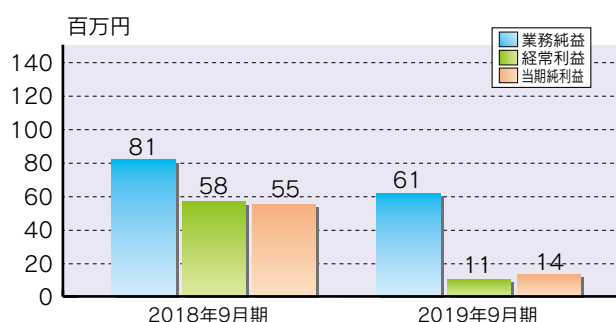


■ 業種別貸出金残高の割合



◆ 損益の状況

■ 損益の推移



安定した収益の確保に努めております。

本業の利益を示す業務純益は61百万円となったほか、経常利益は11百万円、当期純利益は14百万円を計上しました。

地元の事業者や個人のお客さまの資金需要にお応えするとともに、各種リスク管理を徹底し、今後も安定的な収益確保に取組んでまいります。

※「業務純益」とは、金融機関の利益を見るうえでの重要な指標で、預金・貸出金や為替業務等金融機関本来の業務から生まれた利益です。

※「経常利益」とは、業務純益に貸出金償却、貸倒引当金繰入額等の臨時損益を加減したものです。

※「当期純利益」とは、経常利益に特別損益を加減し、法人税等を控除した最終利益です。

市場関連リスクを考慮し、安全な運用に心がけております。

■ 満期保有目的の債券

	2019年9月期			
	貸借対照表計上額	差額	うち益	うち損
満期保有目的の債券	2,321	112	112	0

1) 「差額」は、貸借対照表計上額と時価との差額を計上しております。

2) 時価は、2019年9月末における市場価格等に基づいております。

■ その他有価証券

	2019年9月期			
	貸借対照表計上額	評価差額	うち益	うち損
その他有価証券	16,281	468	569	100
株式	3	△2	0	2
債券	11,592	411	414	3
その他	4,685	59	154	95

1) 貸借対照表計上額は、2019年9月末における市場価格等に基づいております。

2) 上記の「その他」は、信金中央金庫の優先出資証券、投資信託及び外国証券です。

3) 「評価差額」は取得原価(償却原価)と貸借対照表計上額との差額を計上しております。

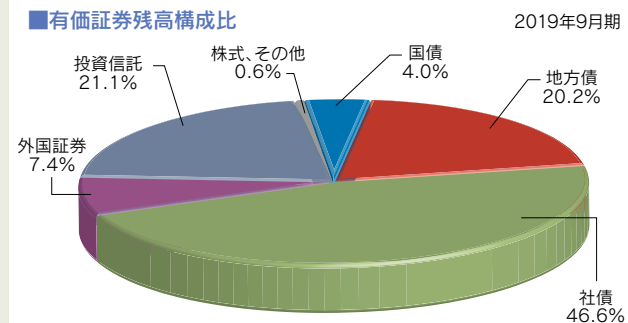
■ 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券

	2019年9月期	
	貸借対照表計上額	
その他有価証券 非上場株式		9
組合出資金		28

◆ 有価証券の時価情報

お客様からお預かりしております預金積金は貸出金のほか、有価証券等で運用しております。資金の公共性に鑑み、安全性や収益性に留意し、国債をはじめ、公社債等で運用しております。

■ 有価証券残高構成比



■ 子会社・子法人等株式及び関連法人等株式

該当ございません。

■ 売買目的有価証券

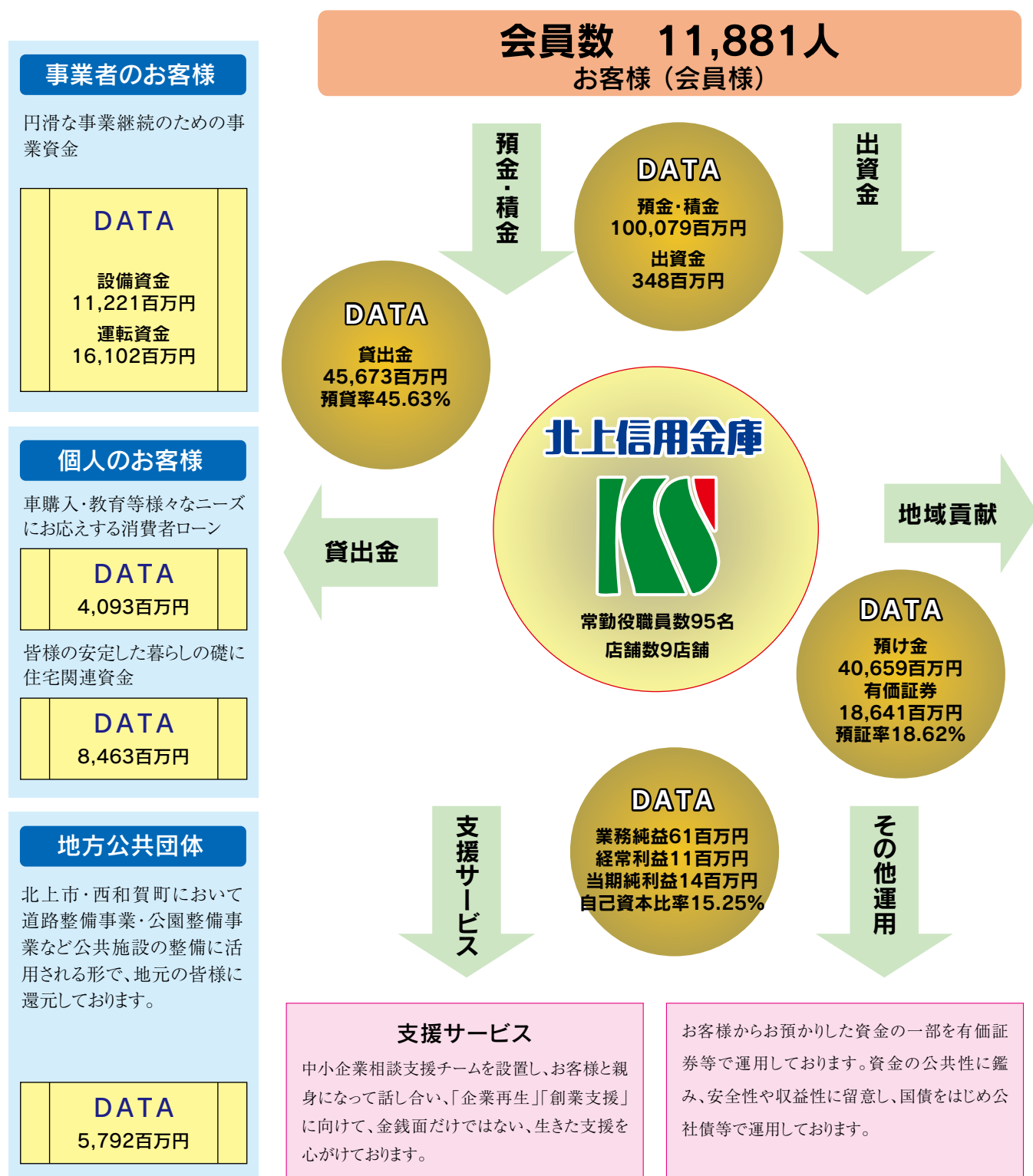
該当ございません。

北上信用金庫と地域社会

～地域社会の発展と活性化をめざして～

◆ 当金庫の地域経済活性化への取組み

当金庫は、北上市、西和賀町を重点事業区域として、地元の中小企業や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助の金融機関で、地元のお客様からお預かりした大切な資金(預金・積金)は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業や住民と強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供に止まらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。



※データはすべて、2019年9月末現在のものです。

地域社会の一員として 地域社会の一員としてさまざまな活動を展開しております

◆2019年度上期 トピックス



交通安全街頭指導



「信用金庫の日」清掃活動



第71回通常総代会



本通り商店街夏祭り歩行者天国手伝い

- 4月・よろず支援拠点出張相談会(常盤台支店)
・第17回北上信用金庫杯少年サッカー大会
- 5月・よろず支援拠点出張相談会(東支店)
・岩手県下信用金庫野球大会(胆沢球場)
- 6月・「信用金庫の日」PR活動(全店)
・第71回通常総代会(プランニュー北上)
・よろず支援拠点出張相談会(北上駅前支店)
・令和元年度創業支援塾第1期(6.29～7.27)(北上市産業支援センター)
・第45回北上信用金庫ゴルフ大会(栗駒ゴルフ倶楽部、表彰式:プランニュー北上)
- 7月・いきいきゲーム授業(和賀西小学校)
・よろず支援拠点出張相談会(西和賀支店)
・若手リーダー強化セミナー(プランニュー北上)
・第2回北上信用金庫杯少年野球大会(藤沢広場)
- 8月・「よいこのお絵かき大会」各店ロビー
・北上みちのく芸能まつり市民パレード参加
・本通り商店街夏祭り歩行者天国にて、アンパンマン握手会開催
・よろず支援拠点出張相談会(北上駅前支店)
- 9月・きたしん健康友の会 星野リゾートトマム雲海テラスと富良野美瑛への旅
・鬼っジョブ北上おしごとパーク2019
・よろず支援拠点出張相談会(北上駅前支店)

各支店の活動

○本店

- ・「きゅうり天王宵宮祭り」手伝い
- ・「新穀町宵宮」手伝い
- ・「本通り商店街夏祭り歩行者天国」手伝い
- ・春・秋の全国交通安全運動における黒沢尻西小学校通学路での交通安全街頭指導

○藤根支店

- ・「佐野公園清掃活動」への参加
- ・わがの里秋祭り手伝い
- ・秋の全国交通安全運動における107号線での交通安全街頭指導

○西和賀支店

- ・「錦秋湖マラソン」手伝い
- ・「湯本温泉丑祭り」手伝い
- ・春・秋の全国交通安全運動における交通安全街頭指導及び黄色い羽根配布事業への協力

○常盤台支店

- ・ローン相談会開催(毎週火曜日夜7時まで実施)
- ・「常盤台七夕まつり」への参加
- ・ロビー展開催
- ・春・秋の全国交通安全運動における交通安全街頭指導

○大堤支店

- ・大堤公園清掃活動
- ・北星荘夏祭り手伝い
- ・春・秋の全国交通安全運動における交通安全街頭指導

○北上駅前支店

- ・「北上駅西口地域安全連絡協議会地域パトロール」への協力
- ・春・秋の全国交通安全運動における交通安全街頭指導

○柳原支店

- ・「特別養護老人施設いとよ夏祭り」手伝い
- ・春・秋の全国交通安全運動における交通安全街頭指導

○むらさきの支店

- ・春・秋の全国交通安全運動における交通安全街頭指導

○東支店

- ・浮牛城まつりへの参加
- ・「山の神社奉納祭大演芸会」への参加
- ・春・秋の全国交通安全運動における交通安全街頭指導

きたしん会(きたしん会・信和会・西和賀しんきんクラブ・北上駅前しんきん友の会)・はばたきの会・ほほえみの会・きたしん健康友の会等を組織して、ゴルフ大会、親睦旅行など様々なイベントを開催しております。

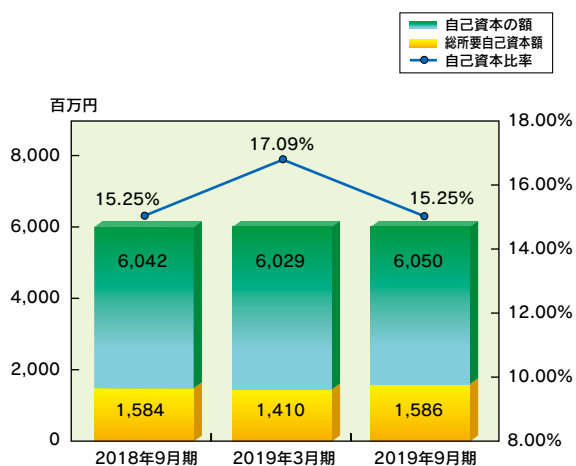
自己資本の充実の状況等について

◆自己資本の充実の状況

自己資本比率とは、信用金庫の経営状況を把握する重要な指標です。自己資本比率が高ければ高いほど、財務の安全性・健全性が高く経営基盤が安定しているといえます。

当金庫の2019年9月期の自己資本比率は15.25%で、国内基準4%の3倍超、これだけでなく都市銀行など海外で営業している金融機関の基準値(国際基準)8%をも優に超えた高い水準を維持し、十分な健全性を確保しており、皆様に安心してお取引いただける経営内容となっております。

■自己資本額・総所要自己資本額・自己資本比率の推移



体力には自信があります。

■自己資本に関する事項

(単位: 百万円)

項目	2019年3月期	2019年9月期
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	6,176	6,188
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	147	138
自己資本の額 ((イ) - (ロ)) (イ)	6,029	6,050
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	35,269	39,671
自己資本比率 ((イ) / (ニ))	17.09%	15.25%
信用リスクに対する所要自己資本の額	1,317	1,493
オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額	93	93
単体総所要自己資本の額	1,410	1,586

(注) 「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しております。

※「コア資本」とは、会員の皆様からお預かりしている出資金や、一般貸倒引当金などが該当します。

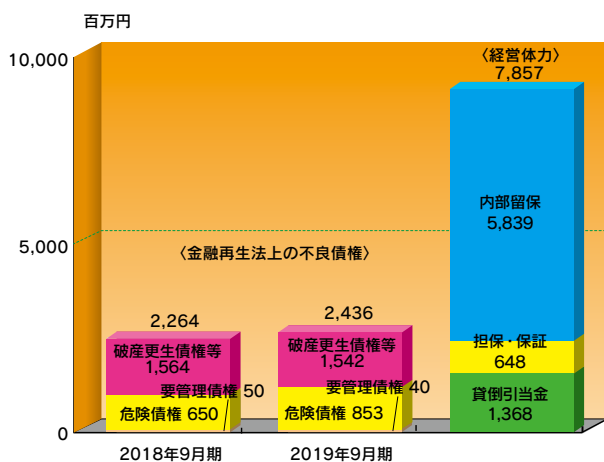
※「リスクアセット」とは、オンバランス・オフバランスの各資産項目にリスク・ウェイト(資産ごとにリスクの割合によって定められた掛目)を乗じて算出した額で、自己資本比率の分母になります。

※「オペレーショナル・リスク」とは、金融機関の業務の過程、役職員の活動、もしくはシステムが不適切である事などにより損失を被るリスクのことです。当金庫では基礎的手法を採用して算出しております。

※「総所要自己資本の額」とは、自己資本比率分母の額に4%を乗じて算出した額のことです。

◆金融再生法ベースの債務者区分による開示

■金融再生法上の不良債権と経営体力



資産の健全性向上を図っております。

当金庫の金融再生法開示による不良債権は、前期比171百万円増加し、不良債権比率も0.46ポイント上昇して5.31%となりました。

これらの不良債権は、担保・保証や貸倒引当金により82.79%保全されているほか、内部留保を加えた経営体力7,857百万円によりカバーされております。

※金融再生法開示債権は、「貸出金」に加え、「債務保証見返」「未収利息」「仮払金」を対象債権としております。

※2019年9月末時点で実施した自己査定に基づき、金融再生法ベースで開示しております。

※「破産更生債権等」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

※「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取ができない可能性の高い債権です。

※「要管理債権」とは、「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。

北上信用金庫の地域貢献活動

(2019年4月～2019年9月)



第17回北上信用金庫杯少年サッカー大会



第2回北上信用金庫杯少年野球大会



北上みちのく芸能まつり市民パレード



鬼っジョブ～北上おしごとパーク

店舗のご案内



※北上信用金庫金融機関コード
「1154」(全店共通)

①本店 店番号 001

〒024-0094 北上市本通り一丁目 5-30

TEL 0197-63-2307 (代) FAX 0197-63-2310

②藤根支店 店番号 002

〒024-0073 北上市下江釣子 11-75-3

TEL 0197-73-5231 (代) FAX 0197-73-5209

③西和賀支店 店番号 003

〒029-5512 和賀郡西和賀町川尻 40-40-50

TEL 0197-82-2220 (代) FAX 0197-81-1027

④常盤台支店 店番号 004

〒024-0012 北上市常盤台二丁目 13-28

TEL 0197-63-6171 (代) FAX 0197-61-2184

⑤大堤支店 店番号 005

〒024-0055 北上市大堤南一丁目 4-23

TEL 0197-67-2332 (代) FAX 0197-71-2950

⑥北上駅前支店 店番号 006

〒024-0061 北上市大通り二丁目 3-4

TEL 0197-65-3281 (代) FAX 0197-61-2186

⑦柳原支店 店番号 007

〒024-0083 北上市柳原町二丁目 1-54

TEL 0197-63-2244 (代) FAX 0197-61-2187

⑧むらさきの支店 店番号 008

〒024-0004 北上市村崎野 15-268-4

TEL 0197-66-3133 (代) FAX 0197-71-3486

⑨東支店 店番号 009

〒024-0022 北上市黒沢尻二丁目 4-13

TEL 0197-63-8511 (代) FAX 0197-61-2189

地元とともに



〒024-0094 岩手県北上市本通り一丁目 5 番 30 号

TEL 0197-63-2307 (代)

ホームページアドレス <https://e-shinkin.net>